

## 24年度地方局予算の概要

【TOYOものづくり産業支援事業 2,400千円（21～26年度）】〔継続：一部新規〕

生産工程の改善、新製品の開発や新市場の開拓、新たな受注先の開拓などに積極的にチャレンジしようとする企業や経営者を支援し、ものづくりを基軸とした足腰の強い産業基盤の形成を図る。

- 1 ものづくり生産現場診断・指導事業（産業支援機関に委託）〔新規〕  
大手企業OB等4人でチームを組んで、生産現場に特化した診断を行い、ロスを減らし利益を確保できる経営体質となるよう指導を行う。
- 2 次代を担うコア企業経営者育成事業（産業支援機関に委託）〔新規〕  
次代を担う若手経営者を育成するとともに、その成果発表会などを通じて、やる気のある経営者の輪を東予地域全体に広げる。
- 3 TOYO産業ネットワーク（T-NET）会議の開催



【即戦力・就農チャレンジ支援事業費 1,500千円（24～25年度）】〔新規〕

東予地域の企業従業員には、退職後、担い手となる可能性のある兼業農家が多いが、就農促進・支援対策はなかった。

そこで、農業参入企業等のネットワークを活用し、企業内の潜在的な担い手予備軍を掘り起こし、就農への動機付けを行うほか、就農サポート体制を整備することで、新たな担い手の確保・育成を図る。

- 1 就農チャレンジサポート体制の整備  
農業指導士、認定農業者関係機関等による営農計画や作物の相談、農地情報等の提供やJAアグリサポートセンターでの技術研修を実施
- 2 「農の卵」発掘活動（企業退職者の潜在候補掘り起こし）  
企業の退職予定者等に対し、農業の関心度、退職後の就農予定等のアンケート調査を実施し、地域の担い手候補者リストを作成。
- 3 「農ある暮らし」応援セミナー（企業退職者就農準備セミナー）
  - (1) 応援セミナー  
地域農業の現状や農政、集落営農等の基礎知識、事例紹介等
  - (2) 体験交流会  
地域農業者と栽培体験や意見交換、集落営農視察などを実施。
- 4 参入企業等のネットワーク活動支援



# 24年度地方局予算の概要

【東予地域資源活用促進事業費 9,094千円（23～25年度）】〔継続：一部新規〕

東予地域に交流人口を呼び込み、地域を活性化していくことは、中予・南予地域にも波及効果が及び、県全体の観光・地域づくりに非常に有用なものである。

東予地域は、「しまなみ海道」、「別子銅山産業遺産」という世界に誇れる地域資源を有していることから、これらを核とした取組みを促進し、交流人口の拡大及び観光振興を図る。

## 1 近代化産業遺産を活用したまちづくりの推進

### (1) 東予地域近代化遺産等保存・活用協議会等

別子銅山関連遺産群を始めとする近代化産業遺産について、管内市町等と連携し、地域活性化資源として保存及び活用方策等を協議。

### (2) 別子銅山から紐解く地域交流パネル展

別子銅山産業遺産についての認識を深め、地域間交流の促進を図るため、管内4市1町においてパネル展を開催。

### (3) 産業遺産普及啓発推進学習事業〔新規〕

- ・ものづくり産業遺産体験学習事業（中学生対象）
- ・産業遺産学習手引き作成事業（高校生対象）

### (4) 産業遺産Jrマイスター養成事業(東予地区高校生等対象)〔新規〕

高校生の修学旅行案内人や中学校の出前講座での講師等を養成。



## 2 しまなみ周遊サイクリングの普及

### (1) しまなみ周遊サイクリング普及事業連絡会議

自転車による周遊・滞在型旅行スタイルを普及させるための情報交換や事業の円滑な実施方策等を協議。

### (2) しまなみサイクルレスキュー（仮称）整備事業〔新規〕

故障や怪我で立ち往生したサイクリストの救援システムを構築。

### (3) しまなみ周遊サイクリング普及イベント

- ・グループラリー、アフター交流会
- ・GT体験スタンプラリー（抽選で地元特産品等を贈呈）

### (4) サイクリスト向け商品開発・販路開拓普及事業〔新規〕

サイクリストをターゲットとした土産物の商品開発や販路開拓を行う企業等を支援



## 3 東予地域広域観光の推進

### (1) 東予地域産業観光プロジェクト〔新規〕

【道路美化推進モデル事業 1,500千円（22年度～）】〔継続〕

東予地域の中央分離帯面積は県下の約7割を占め、毎年の防草対策の取組みが課題である。

そこで、年間を通じた道路環境美化の推進及び今後の除草等の維持管理経費の縮減を目的に、防草対策として地被植物を植栽する。さらに、植栽後の維持管理経費等を検証し、一般道路部への普及も検討する。

### 1 事業実施予定箇所（主）壬生川新居浜野田線（西条市樋之口）

L=120m、W=5.0～8.0m、A=約1,000㎡

### 2 実施内容

地被植物（クラピア）を購入し地方局職員が植栽。また、植栽後



樹木がなく雑草の繁茂している部分